神中しーぶん

平成26年
11月13日

神原中
不定期34号

異文化交流会!!

～３年全学級において交流会を実施～

去る十一月十二日(水)五・六校時に、三学年の各教室にて平成二十六年度の異文化交流会が実施されました。

市内小中学校の英語指導員(ＡＥＴ十名)が参加し、「①日頃の英語活動で慣れ親しんだ英語及び身につけた英語を活用することで、コミュニケーションへの積極的な態度と能力を育む。②異文化への理解を深め、英語を通したコミュニケーション力を培う。」ことをねらいとしています。

各学級で、生徒司会や歓迎の言葉、お礼の言葉の役割分担も行われていました。

最初に、生徒による歓迎の言葉があり、その後に各グループにより、ガイドブックを活用しながら沖縄の紹介を行っています。その次に、各ＡＥＴによる自己紹介と出身国の紹介を行っています。電子黒板を活用する事で、視覚的な面からも生徒達の関心を集めていました。どの学級においても積極的に質問している場面等も見られました。

以上の様な内容でローテーションを組んで次の学級へ移動しています。全ＡＥＴとの交流を終えた後は、各学級において生徒代表によるお礼の言葉で締めています。その言葉も英語科の指導により、英語での感想等を述べています。

「しーぶん」って?

―使ってみようウチナーグチ―

おまけ。売買で余分に添えてやるサービスの意味です。沖縄の平和通り(公設市場)や道の駅などで買い物をすると、ほとんどのおばーたーは「しーぶん・やさ」と言っておまけをしてくれます。当たり前のように自然に出してくれるのが、うちなーんちゅの商売なんですね。ちょっとしたことでお客さんが笑顔になる。喜んでもらえるのがうれしい。お互いに良かったと思えるWin-Winの関係です。

＜「しーぶん」使用例＞

- **くれー、しーぶん・ぐぁー・やさ**
  ［これ、おまけねー］
- **しーぶん、ねーらんなー**
  ［おまけは、ないの？］
- **しーぶん・くぃみそーれー**
  ［サービスしてください］
- **あまや、しーぶん・ぬ・うふさくとぅ、あまんじ、こーてぃ・くーわ**
  ［あそこは、おまけが多いから、あそこで買っておいで］

場所によっては、少しずつなくなっていないか心配です。

神原ノート取組!

去る十二日から十九日までの間、第三回神原ノート取り組み強化旬間を実施中です。今年度最後の取り組みとなります。これまで賞に入らなかった学級は、中間テスト対策も兼ねて、日頃よりも頑張ってみませんか。学級全体のページ数が表彰対象なので、一人だけの頑張りでは難しいです。学級全体のやる気が大切です。しかも、頑張った成果がテストに結果として表れるとしたら…。こんな良い事はないと思いますが。特に今回は、土日が含まれているので大きくページ数を伸ばす事も考えられます。

現在、校長先生から受け取る特別の神原ノートには、ちょっとした景品もついてきます。先着五十名分ぐらいなので、受け取れるよう挑戦してください。景品は、名嘉校長先生の友人である退職校長先生からのプレゼントだそうです。

写真は、職員室横のローカに設置された棚です。中にあるのは、終了した神原ノートです。

意見発表大会!

去る十一月十一日(火)那覇市の意見発表大会が、男子は城北中、女子は首里中を会場として開催されました。

本校からは、男子が上原大地さん、女子が湯山礼実さんが学校代表として出場しました。那覇市内の各中学校の代表者が自分の体験を通しての意見を堂々と発表していました。

本校代表の二人も、授業の始まりに時間をもらい発表したり、前日の放課後は職員室にて先生方の前で本番さながらの発表を行っていました。発表を聞いた先生方からも素晴らしい内容で、是非頑張って県大会の出場枠を勝ち取って欲しいとの声が聞かれました。当日は、残念ながら代表になる事はできませんでしたが、十分に練習の成果を発揮したと聞きました。結果は、二人とも優良賞を受賞しました。これまでよく頑張りました。この経験を活かして更に飛躍してください。

避難訓練間近!!

来る11月19日(水)の午後に避難訓練を予定しています。いつ起こるか分からない自然災害に対して、どのような行動をとれば良いのか、日頃からの訓練が非常に大切になってきます。東日本大震災の教訓を活かし、自分のいる場所や周りの環境・地形等を理解した上での行動が必要となります。どこへ避難すればよいのか。家族とはどこで対面するのか。前もって、色々な取り決めも必要です。当日は、どうせ訓練だからと言うような安易な気持ちで参加する事がないようにしてください。いざという時の冷静な判断と行動が生死を分けるという事を頭に置いて、真剣に訓練に参加しましょう。